

**平成26年度 事業報告 敬愛学園高等学校**  
平成27年4月

**1. 基本情報**

部門	敬愛学園高等学校	責任者	太和田 安彦
基本方針	(1) 敬天愛人の理念に基づく「心の教育」に全力を注ぐ。 ＝天地の大道を敬い、人の痛みのわかる人間の育成＝ (2) 「生きる力」の根源となる個性と能力を伸ばす教育を目指す。 ＝人生を切り開き、自己の能力を伸長する人間の育成＝ (3) 国際化・情報化社会に対応する教育を目指す。 ＝豊かな人間性と社会性、国際社会に生きる自覚の育成＝ (4) スポーツ・芸術活動を通して、丈夫な身体と健全な精神を育成する。 ＝体力の維持向上と心身の健康の保持増進と育成＝		
現状と課題			
(1) 建学の理念・教育方針の具現化・実践化をはかる。 (2) 良き伝統を維持し、変化する社会に即応した特色ある学校経営の実現に努める。 (3) 進学校としての教育課程を確立し、生徒の実態に即した教育計画の研究と実践に努める。 (4) 校務分掌の円滑な運営により、調和と統一のある教育活動を推進する。 (5) 学校の環境美化と施設設備の重点的な整備をはかり、適切な管理と運用に努める。 (6) PTA・同窓会・地域との連携を軸に、教育活動への協力体制を確立するとともに、家庭や地域社会に開かれた学校づくりに努める。 (7) 経費節減に努め、財政の安定化をはかる。			

**2. 平成26年度実施項目**

		[％]	達成度	
教育事業活動	全体	(1) 行事の精選・調整	70	行事が減らない 健闘している  不具合修正  実施 見直し実施
		(2) 各コースでの検討、進路実績・部活動実績	80	
		(3) 四校合同研修会・各種研修会	70	
		(4) 防災避難訓練・防災備蓄、Webでお知らせ緊急連絡	90	
		(5) 公開講座、地域の行事への参加	60	
		(6) 学校評価の実施(委員会の立ち上げ)	100	
		(7) 入試制度、奨学生制度(学業・特別活動)の運用の検討	100	
	総務部	(1) 建学の精神「敬天愛人」を学校生活のあらゆる局面で習得させる	80	内容精選 支援者増 地域が弱い 体罰とマナー
		(2) 式典等をはじめ学校行事の見直しを図り、各種行事を成功させる。	80	
		(3) 保護者との連携を強め、活発なPTA活動を進める。	90	
		(4) 生徒・保護者・地域・学校の総合的な推進を図る	60	
		(5) 教職員研修によって教職員の意識の向上を図る	70	
	教務部	(1) 34単位、45分7時間授業の実施効果の検証	50	答申出ず 不登校問題 各教科  徹底が不足  家庭学習1時間未満多い
		(2) 全教科・科目の完全履修・修得の徹底	100	
		(3) 新教育課程による授業内容と指導方法の研究	80	
		(4) 教科会議の充実による授業及び定期考査問題内容の検討	80	
		(5) シラバスの充実	60	
		(6) 授業補講の徹底、補習内容を充実させ実施する	90	
		(7) 家庭学習の習慣化を図る	60	
		(8) 修学旅行の検討開始	100	
生徒指導部	(1) 基本的な生活習慣の確立	70	事故減少  日本一3名  教員の相談多し	
	(2) 交通安全教育の推進	80		
	(3) 計画的なHR活動の運営	80		
	(4) 課外活動の活性化	80		
	(5) 保健教育の充実	80		
	(6) 生徒の健康診断の実施	100		
	(7) カウンセリング室の活用	80		
進路指導部	(1) 全体の進学意識の向上	70	資料の活用	
	(2) トップ層の厚さを増やす。	70		
	(3) 担任の力量(知識・相談・指導)のアップ	70		
	(4) 受験科目の調査(新課程対応)	80		
	(5) 個別学習のサポート	80		
	(6) 進路選択のサポート(1・2年科目、コース選択)	80		
	(7) 相談業務の強化	80		
	(8) 合格結果のブラッシュアップ	80		

環境部	(1)教科室配置計画、本部職員室職員机配置当計画施設設備の修繕	90	
	(2)トイレ点検・改修計画	60	洋式化はH27
	(3)本館のエアコンの更新計画の策定	90	3館H27
	(4)アリーナの利用調整会議の実施	90	
	(5)防災点検、防災備品の管理	80	防災倉庫の設置
	(6)美化委員会の指導	80	
	(7)日常清掃に必要な物品(掃除セット)を各教室に備え付け美化を図る	80	
	(8)校舎内の清掃の徹底	80	
	(9)校内に置かれている物品の整理整頓	80	廊下ロッカーの撤去
	(10)自然災害次対応品の補充(スコップ・バケツ)	100	
入試業務部	(1)生徒募集計画の作成	90	
	(2)入試結果の分析と中学生動向の把握	90	
	(3)学校案内・広報の充実	90	
	(4)学校説明会・入試説明会の充実	90	参加者増
	(5)組織的な中学校訪問学習塾訪問の展開	90	
	(6)業者主催の説明会・地区進連協主催の説明会への参加	90	
	(7)入試相談の充実	80	
	(8)他の分掌(教務部、データベース、環境部、進路等)との連携	90	
	(9)併願専願同日試験実施に伴う試験会場試験形態の検討	90	
	(10)HP入試情報の充実	60	HP更新遅い
図書視聴覚部	(1)情報館システムの活用	60	入力未完成
	(2)図書室・書庫の整備	60	
	(3)図書及び視聴覚利用の推進	60	
	(4)自習室利用の推進	80	朝自習管理
	(5)敬天愛人コーナーの充実	70	
国際交流推進室	(1)英国留学制度の充実	80	協力校訪問
	(2)NZ短期語学研修の充実	80	
	(3)広報宣伝の充実	70	
	(4)事前事後学習の充実	90	事前学習プレゼン
	(5)ベバリーホーンシー2校の短期研修生の受け入れ	0	来日せず
	(6)高大連携の充実	60	スカイプ講座・生涯学習
データベース室	(1)校内LAN(生徒用・職員用)の統一	100	
	(2)ファイヤーWALLの強化	100	
	(3)教務システム運用の支援	100	
	(4)HPの制作・更新	50	予算不足H27実施
	(5)PC教室プロジェクター更新	0	H27実施
	(6)サーバー用無停電電源装置	100	
	(7)各種アンケート支援(マークシート活用)	100	
	(8)入試関係支援	90	
生涯学習講座	(1)講座数の確保	70	
	(2)新規参加者の獲得	70	
教育事業活動	事務室	(1)授業料未納者対応	100
		(2)就学支援金対応	90
		(3)預かり金(修学旅行積立、学年諸経費、駿台予備校受講費、英国留学費用)の扱	70
		(4)施設設備更新の年次計画の作成・修正	70
		(5)水光熱費の削減	80
		(6)大学との施設利用調整	80
		(7)公用車の適切な運用・記録簿の作成	80

平成26年度 自己評価報告 敬愛学園高等学校(HP)  
平成27年4月

1. 基本情報

部門	敬愛学園高等学校	責任者	太和田 安彦
基本方針	(1) 敬天愛人の理念に基づく「心の教育」に全力を注ぐ。 ＝天地の大道を敬い、人の痛みのわかる人間の育成＝		
	(2) 「生きる力」の根源となる個性と能力を伸ばす教育を目指す。 ＝人生を切り開き、自己の能力を伸長する人間の育成＝		
	(3) 国際化・情報化社会に対応する教育を目指す。 ＝豊かな人間性と社会性、国際社会に生きる自覚の育成＝		
	(4) スポーツ・芸術活動を通して、丈夫な身体と健全な精神を育成する。 ＝体力の維持向上と心身の健康の保持増進と育成＝		
現状と課題			
(1) 建学の理念・教育方針の具現化・実践化をはかる。 (2) 良き伝統を維持し、変化する社会に即応した特色ある学校経営の実現に努める。 (3) 進学校としての教育課程を確立し、生徒の実態に即した教育計画の研究と実践に努める。 (4) 校務分掌の円滑な運営により、調和と統一のある教育活動を推進する。 (5) 学校の環境美化と施設設備の重点的な整備をはかり、適切な管理と運用に努める。 (6) PTA・同窓会・地域との連携を軸に、教育活動への協力体制を確立するとともに、家庭や地域社会に関わった学校づくりに努める。 (7) 経費節減に努め、財政の安定化をはかる。			

2. 平成26年度実施項目

		達成度	[%]
教育事業活動	全体	(1) 行事の精選・調整	70 行事が減らない
		(2) 各コースでの検討、進路実績・部活動実績	80 健闘している
		(3) 四校合同研修会・各種研修会	70
		(4) 防災避難訓練・防災備蓄、Webでお知らせ緊急連絡	90 不具合修正
		(5) 公開講座、地域の行事への参加	60
		(6) 学校評価の実施(委員会の立ち上げ)	100 実施
		(7) 入試制度、奨学生制度(学業・特別活動)の運用の検討	100 見直し実施
	総務部	(1) 建学の精神「敬天愛人」を学校生活のあらゆる局面で習得させる	80
		(2) 式典等をはじめ学校行事の見直しを図り、各種行事を成功させる。	80 内容精選
		(3) 保護者との連携を強め、活発なPTA活動を進める。	90 支援者増
		(4) 生徒・保護者・地域・学校の総合的な推進を図る	60 地域が弱い
		(5) 教職員研修によって教職員の意識の向上を図る	70 体罰とマナー
	教務部	(1) 34単位、45分7時間授業の実施効果の検証	50 答申出ず
		(2) 全教科・科目の完全履修・修得の徹底	100 不登校問題
		(3) 新教育課程による授業内容と指導方法の研究	80 各教科
		(4) 教科会議の充実による授業及び定期考査問題内容の検討	80
		(5) シラバスの充実	60 徹底が不足
		(6) 授業補講の徹底、補習内容を充実させ実施する	90
		(7) 家庭学習の習慣化を図る	60 家庭学習1時間未満多い
		(8) 修学旅行の検討開始	100
生徒指導部	(1) 基本的な生活習慣の確立	70	
	(2) 交通安全教育の推進	80 事故減少	
	(3) 計画的なHR活動の運営	80	
	(4) 課外活動の活性化	80 日本一3名	
	(5) 保健教育の充実	80	
	(6) 生徒の健康診断の実施	100	
	(7) カウンセリング室の活用	80 教員の相談多し	
進路指導部	(1) 全体の進学意識の向上	70 推薦に流れた	
	(2) トップ層の厚さを増やす。	70 不十分	
	(3) 担任の力量(知識・相談・指導)のアップ	70	
	(4) 受験科目の調査(新課程対応)	80 資料の活用	
	(5) 個別学習のサポート	80	
	(6) 進路選択のサポート(1・2年科目、コース選択)	80	
	(7) 相談業務の強化	80	
	(8) 合格結果のブラッシュアップ	80 啓発不十分	

環境部	(1)教科室配置計画、本部職員室職員机配置当計画施設設備の修繕	90	
	(2)トイレ点検・改修計画	60	洋式化はH27
	(3)本館のエアコンの更新計画の策定	90	3館H27
	(4)アリーナの利用調整会議の実施	90	
	(5)防災点検、防災備品の管理	80	防災倉庫の設置
	(6)美化委員会の指導	80	
	(7)日常清掃に必要な物品(掃除セット)を各教室に備え付け美化を図る	80	
	(8)校舎内の清掃の徹底	80	
	(9)校内に置かれている物品の整理整頓	80	廊下ロッカーの撤去
	(10)自然災害次対応品の補充(スコップ・バケツ)	100	常備
入試業務部	(1)生徒募集計画の作成	90	
	(2)入試結果の分析と中学生動向の把握	90	分析不十分
	(3)学校案内・広報の充実	90	
	(4)学校説明会・入試説明会の充実	90	参加者増
	(5)組織的な中学校訪問学習塾訪問の展開	90	継続性
	(6)業者主催の説明会・地区進連協主催の説明会への参加	90	活用が必要
	(7)入試相談の充実	80	
	(8)他の分掌(教務部、データベース、環境部、進路等)との連携	90	
	(9)併願専願同日試験実施に伴う試験会場試験形態の検討	90	
	(10)HP入試情報の充実	60	HP更新遅い
図書視聴覚部	(1)情報館システムの活用	60	入力未完成
	(2)図書室・書庫の整備	60	
	(3)図書及び視聴覚利用の推進	60	
	(4)自習室利用の推進	80	朝自習監督
	(5)敬天愛人コーナーの充実	70	
国際交流推進室	(1)英国留学制度の充実	80	協力校訪問
	(2)NZ短期語学研修の充実	80	長期留学の検討
	(3)広報宣伝の充実	70	ポスター予算化
	(4)事前事後学習の充実	90	事前学習プレゼン
	(5)ペバリーホーンシー2校の短期研修生の受け入れ	0	来日せず
	(6)高大連携の充実	60	スカイプ講座・生涯学習
データベース室	(1)校内LAN(生徒用・職員用)の統一	100	実施
	(2)ファイヤーWALLの強化	100	実施
	(3)教務システム運用の支援	100	実施
	(4)HPの制作・更新	50	予算不足H27実施
	(5)PC教室プロジェクター更新	0	H27実施
	(6)サーバー用無停電電源装置	100	交換
	(7)各種アンケート支援(マークシート活用)	100	実施
	(8)入試関係支援	90	
生涯学習講座	(1)講座数の確保	70	新規講座模索
	(2)新規参加者の獲得	70	
教育事業活動 事務室	(1)授業料未納者対応	100	
	(2)就学支援金対応	90	
	(3)預かり金(修学旅行積立、学年諸経費、駿台予備校受講費、英国留学費用)の扱	70	
	(4)施設設備更新の年次計画の作成・修正	70	
	(5)水光熱費の削減	80	
	(6)大学との施設利用調整	80	
	(7)公用車の適切な運用・記録簿の作成	80	